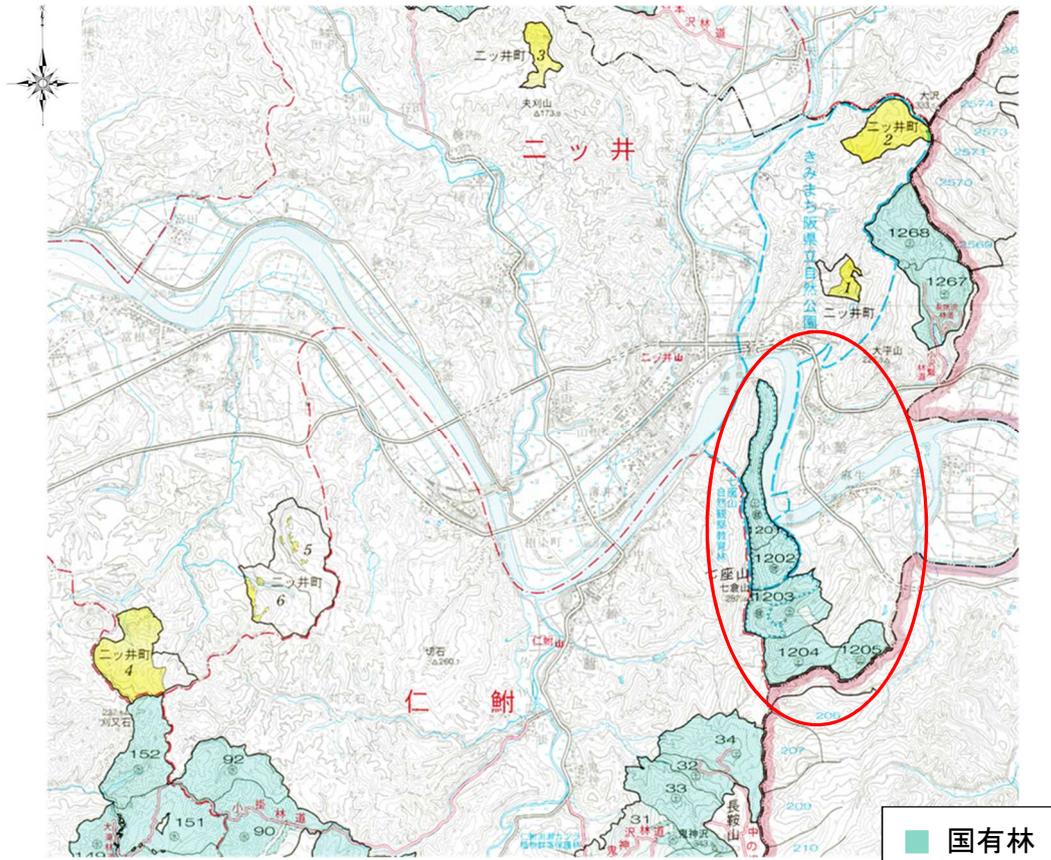


ななくらやま

1. 七座山自然観察教育林について



○ 七座山自然観察教育林の概要

七座山自然観察教育林（昭和48年設定。98.50ha）は米代川沿いの七座山に位置し、天然秋田スギ林分におおわれ峰筋は急峻で険阻な山容をあらわし、加えて混成するブナ、ナラ、イタヤカエデ等の広葉樹が四季に彩りを添えるなど米代川流域随一の景勝地となっている。特に対岸のきみまち坂、国道7号線沿線からの眺望景観に優れている。

【法制限】

保健保安林 98.50ha

土砂流出防備保安林（兼種）41.49ha

きみまち県立自然公園（第2種特別地域）：66.97ha

この七座山自然観察教育林の天然秋田スギ林について、次の特徴がみられる。

- ① 佐竹氏の秋田入国当時を彷彿させるスギの巨木と広葉樹が入り交じった原生的な天然秋田スギ林
- ② 秋田藩による管理を経て純林化し明治期に美林と称されるようになった姿を受け継ぐ天然秋田スギ林

この二つの林分の美林ポイントは次のとおりである。

2. スギの巨樹と広葉樹が入り交じった原生的な天然秋田スギ林

(ビューポイント①)

○現地の様子



○概要

場所：七座山外1 国有林1202い林小班

林齢：225年（平均林齢）

○プロット内の資源状況

約32m×32m（約0.1ha）内のプロットにおいて、佐竹氏が秋田入国当時の立木と記述された周囲7尺（周囲212cm、直径68cm）を超える立木は5本（≒3.4本/0.1ha）確認できる。

No	周囲(cm)	直径(cm)	樹高(m)
1	509	163	48
2	470	150	
3	410	130	
4	352	112	
5	340	108	

←道の駅ふたついの埋もれ木とほぼ同じ大きさ

3. 明治期に美林と称されるようになった姿を受け継ぐ天然秋田

スギ林（ビューポイント②）

○現地の様子



○概要

場所：七座山外1 国有林1202い林小班

林齢：225年（平均林齢）

○プロット内の資源状況

約32m×32m（約0.1ha）内のプロットにおいて、14本の天スギがあり、広葉樹を圧倒している。明治の美林の条件（※注1）と比較すると径級は上回っているが、明治から令和に至る立木の生長も勘案すると、個体に差はあるが当時の森林がそのまま残っているものと推量される。

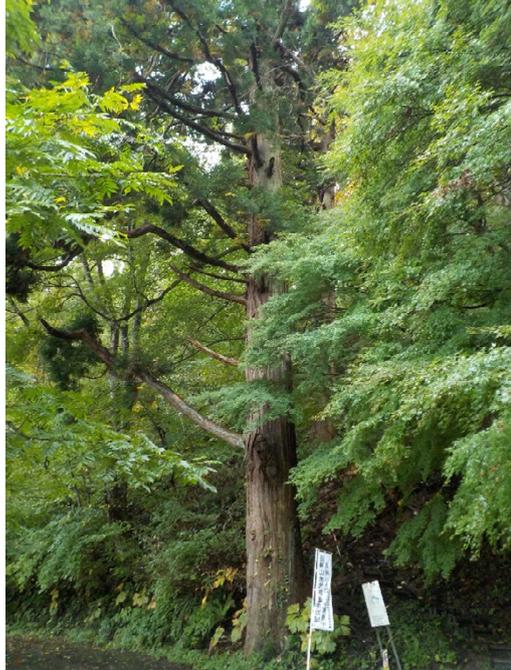
No	直径(cm)	樹高(m)	No	直径(cm)	樹高(m)
1	140		8	83	44.2
2	106	53.3	9	82	
3	104		10	82	
4	94		11	80	
5	94		12	79	
6	90		13	78	
7	89	43.7	14	77	

明治の美林の条件（※注1）

- ・ 平均林齢 150年
- ・ 直径 1尺8寸 (54cm)
- ・ 高さ 18間 (33m)
- ・ 枝下長く樹冠通直
- ・ 純林にして雑木を交えず
- ・ すくすくとして鬱全
- ・ 昼なお暗き

4. 一步の天スギ（仮称）（ビューポイント③）

○現地の様子



○概要

道路沿いにある、一步でふれることができる巨樹です。

所在：秋田県山本郡二ツ井町小繋字七倉山外巻（現能代市所管）

胸高直径 146cm

幹周り 458cm

※参考

本道路敷は、森林鉄道の線路敷であったものを平成4年に能代市（旧二ツ井町）に町道として売払いしたものである。

森林鉄道であった当時は二ツ井貯木場から天神貯木場を結ぶ路線であった。

【七座林道（森林鉄道1級）】

昭和22年度 二ツ井貯木場から天神貯木場までの4,700mを開設。七座署管轄。

昭和28年度 87mを二ツ井営林署七座林道に整理換減（4,613m）

昭和40年度 1,800mを廃道

昭和41年3月31日付けで全線を廃道。

5. 七座天スギふれあいゾーン（仮称）（ビューポイント④）

～稚樹から巨樹まで一度に観察できます～

○現地の様子



○概要

場所：七座山外1 国有林1201ろ林小班

林齢：225年（平均林齢）

○ゾーン内の最大の巨樹

胸高直径 161cm

幹周り 506cm

樹高 47m

※参考

道の駅二ツ井に展示されている天然スギの「埋もれ木」は直径1.6mであり、樹齢は820～850年とされているが、こちらの最大の天然スギとほぼ同じ大きさである。